

1月26日（木）

◆木之本漆器店

フォトスタンドやお皿など自分の好きなものを選んで絵を描き、色粉を蒔いた。皆、熱心に取り組み、作品の出来栄えには満足そうだった。



熱心に作業

完成しました

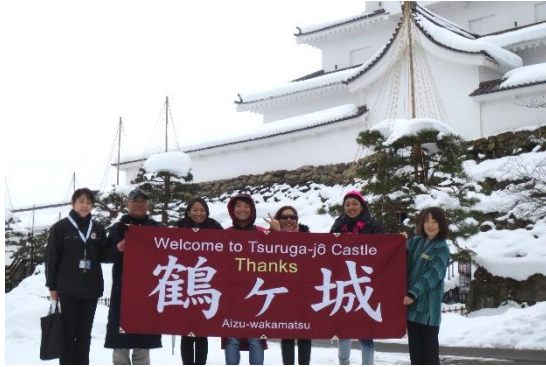
◆まこと食堂

喜多方を代表する老舗店を訪問。皆、喜多方ラーメンを楽しみにしており、「おいしい！」と言いながら食べていた。



◆鶴ヶ城

雪が降ったり止んだりといくくの天候だったが、ボランティアガイドの案内で城内を視察した。研修生は、展示されている刀や鎧などに興味津々の様子で天守閣まで登り、会津若松市内を見渡した。また、クイズを交えた説明に楽しく学びながら、会津の歴史に耳を傾け、熱心に質問をしていた。



鶴ヶ城視察

◆会津学鳳中学校

会津学鳳中学校では、代表者 5 名の生徒が研修生と一緒に校舎内を歩きながら、普段の学校生活について英語で説明を受けた。研修生はきれいな校舎に感動し、図書館や教室に興味深くのぞいていた。また、教室の黒板で漢字を教えてもらったりしていた。

その後、なぎなた部の部活動に参加した。中学生と高校生のなぎなた部の生徒は、英語で身振り手振り一生懸命指導し、研修生は短時間にもかかわらず、所作や一連の動きをマスターすることができた。



校舎内を案内してもらいました







なぎなた体験

◆温泉旅館体験

歴史ある温泉地のひとつである東山温泉に宿泊。家族から露天風呂に入ることを勧められ、温泉旅館を楽しみにしていた研修生もあり、日本文化を満喫したようだった。また、一品ずつ器に盛られた料理を「おいしい」と喜んで食べていた。



1月27日（金）

◆會空

震災と原発事故で大熊町から会津若松市に避難した女性たちが、会津の伝統工芸品である会津木綿を使ってぬいぐるみを制作している『會空』の作業場を訪問。代表の庄子ヤウ子氏から、震災から『會空』設立までの経緯や想いをうかがった。



◆末廣酒造嘉永蔵

県を代表する酒蔵のひとつである末廣酒造嘉永蔵を訪問した。研修生は日本酒づくりについて説明を受け理解を深めた。また、最後の試飲では、家族へのお土産に悩みながら日本酒を買っていた。



日本酒づくりの説明



試飲中

◆郷土料理

みそ田楽の店『満田屋』を訪問。メニューを見ながら、食べたいものを選び、会津地方の郷土料理を堪能した。



◆県立博物館

福島県の古代から現代までの歴史について、展示物や模型を見ながら担当者から説明を受けた。また、文化財レスキュー活動についてスライドを見ながら説明を受け、理解を深めた。



1月27日（金）～1月30日（月）

◆ホームステイ

研修生は、県内の一般家庭でホームステイを体験。ホームステイ先の家族と共に、観光地巡りやショッピング、両親の出身地へ連れていってもらったりと楽しい時間を過ごしたようだった。